

里山を、みどりとふれあうフィールドとして活用し、みどりの大切さを学びながら地球環境の保全や生物多様性の保全、低炭素社会の取組みに向けた市民意識の醸成を図るほか、みどり資源の有効利用にも取組みましょう。

各担い手の役割

● 市民	市民は、活動団体や行政、企業が企画する里山活動やイベントに参加するなど、積極的に自然にふれあい楽しみながら里山が持つ機能について理解を深めましょう。
● 活動団体	活動団体は、行政との連携のもと、それぞれの目的に応じ、自然とのふれあい活動や環境教育、みどりのリサイクル活動など、自主的な里山活用活動を展開しましょう。
● 企業	企業は、里山を活用した観光イベントの開催や地材地消の取組みを進めましょう。
● 大学・専門	大学など専門機関は、里山の活用に向けた技術支援を行いましょ。
● 行政	行政は、市有林の活用を進めるほか、市民活動のための場や機会、資材の提供、関係者や関係機関との調整・コーディネートを行います。また、木質系バイオマス燃料など、森林資源の循環利用のしくみづくりを進めます。

④ 里山の活用

● 里山でのイベント例

森林ボランティアや行政による森と親しむイベントに多くの市民が参加しています。

<きのこ観察会(旭山)>



<観察会(札幌ふれあいの森)>



<間伐体験(旭山)>



● 間伐材の活用例

間伐材を活用して、きのこづくりや、木工体験などを行っています。

<間伐材を活用したきのこづくり>



<木工クラフト体験(札幌ふれあいの森)>



ペレットストーブの燃料として活用



間伐材などの木を材料としたペレット燃料の生産と活用。

制度・支援メニュー

● ボランティア
* <みどりのボランティア>
公園ボランティア制度
P.094

G 里地の活動

<里地のみどりづくりのあり方>

市街地をとりまく里地のみどりは、生産の場・生物の生息移動空間として維持していくほか、市民のみどりとふれあうライフスタイルのフィールドとして活用し、札幌らしい良好な都市景観・都市環境の維持向上を目指しましょう。

○里地の保全 P.091

☑里地の保全

関連する主なプログラム
⑦⑨

○里地の活用 P.092

☑農地を活用した農とふれあう場づくり

☑草地や水辺を活用したふれあいの場づくり

関連する主なプログラム
⑦⑨

○新たな森づくり P.093

☑新たな森づくり

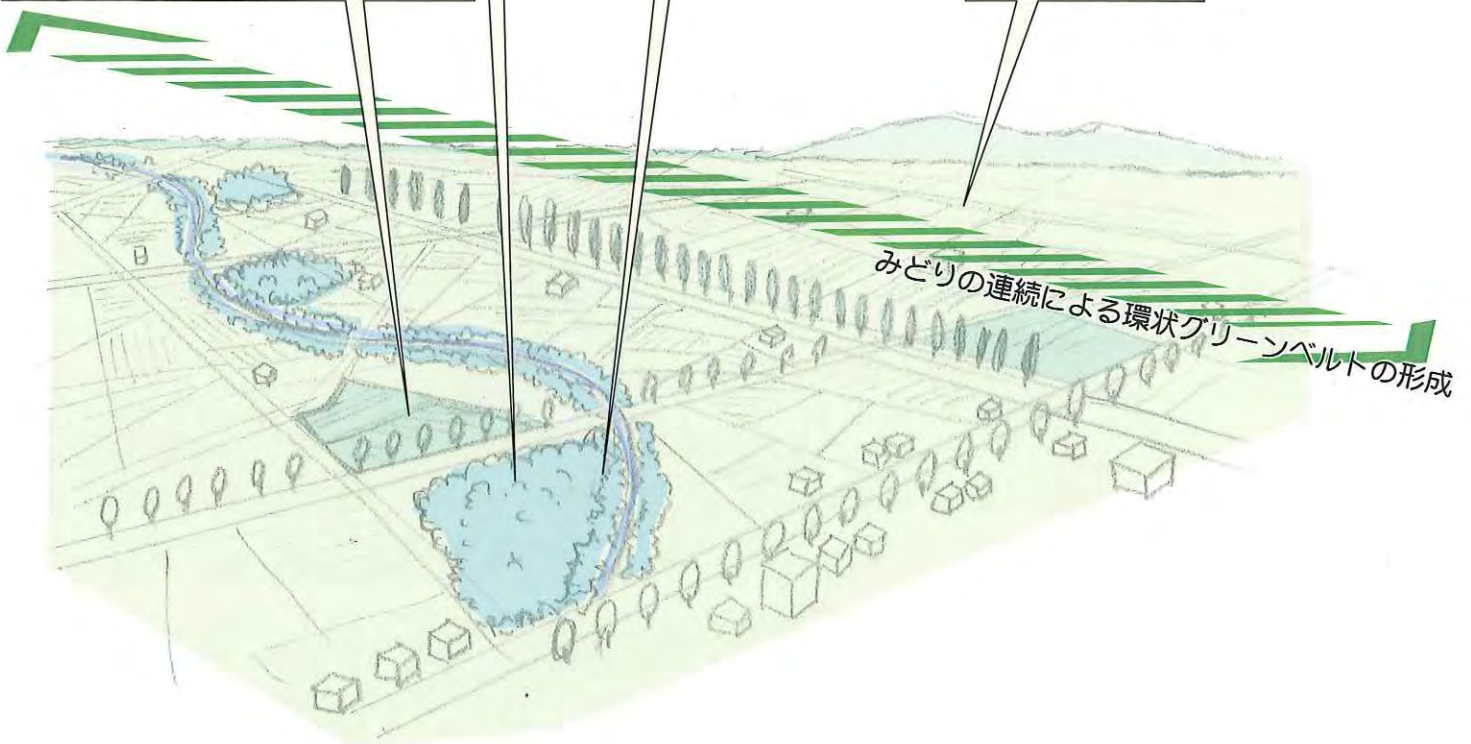
関連する主なプログラム
⑦⑨⑪

☑新たな森づくり
取組み例：P.093

☑草地や水辺を活用したふれあいの場づくり
取組み例：P.092

☑農地を活用した農とふれあう場づくり
取組み例：P.092

☑里地の保全
取組み例：P.091



札幌らしさを表す良好な都市景観・都市環境を維持する農地や草地、防風林などは、かけがえない里地の資産として次世代に引き継いでいきましょう。また、水辺のみどりの保全に取り組み、生物の生息・移動空間の確保や、うるおいある景観づくりを行いきましょう。

各担
い手
の
役
割

●市 民	市民は、市街地近郊の貴重な農地や草地、防風林を、札幌郊外の景観を形成するまちの財産として認識しましょう。
●活動団体	市民、活動団体、企業は、里地に残る連続的なみどりが、生物の生息・移動空間として、また、里地を特徴づける景観資源として重要であることを認識し、保全活動に参加しましょう。
●企 業	
●行 政	行政は、制度の運用によるみどりの保全や、市民、企業(農業者)の活動支援を行います。

Ⅰ里地の保全

●農地

北区篠路や東区中沼には酪農家が多く、牧草の収穫時期を中心として、市民に牧歌的な風景を提供しています。

<中沼の牧草地>



●草地・水辺

里地に残る草地・水辺は、里地の中の大切なみどりの一つとして、生物の生息空間として貴重な場所となっています。

<あいの里公園>



●防風林

里地に残る防風林は、里地の中の大切なみどりの一つとして、景観、防災、環境など多様な価値があります。

<防風林(丘珠)>

